第 1 日　9 月 20 日（金）　9:00 ～ 10:30

時間	A 会場 G42 果樹 I	B 会場 G41 果樹 II	C 会場 G45 果樹 III	D 会場 G2大 野菜 I	E 会場 G22 野菜 II	F 会場 G29 野菜 III
9:00	**遺伝子解析・マーカー（リンゴ）** **遠藤 朋子** 果 001 MdMYB110a, MdMYB10 の発現特性と赤果肉リンゴ育種 ○濱田 優香[1]・太田垣 駿吾[1]・岡田 和馬[2]・阿部 和幸[2]・白武 勝裕[1]・松本 省吾[1] （[1] 名古屋大院生命農学研究科，[2] 農研機構果樹研）	**育種（カンキツ・その他）** **国武 久登** 果 024 軟 X 線照射によるカンキツ新品種‘南津海シードレス’の育成 ○兼常 康彦[1]・岡崎 芳夫[2]・宮田 明義[1]・池田 行謙[3]・藤本 敬胤[4]（[1] 山口農総技セ，[2] 山口柳井農林，[3]（公財）東京農総合技セ，[4] 山口山口農林）	**カキ** **児下 佳子** 果 047 カキの簡易な樹形改造法の開発（第 2 報）主枝候補枝の効果的な育成法の検討 ○堀田 宗幹・熊本 昌平・弘岡 拓人・木村 学（和歌山果樹試かき・もも研）	**栽培・栄養生理（トマト）** **松永 啓** 野 001 ミニトマト不織布ポット栽培における仕立て方法及び給液量の違いが開花・生育及び収量に及ぼす影響 ○川上 暢喜[1]・中塚 雄介[1]・元木 悟[2]（[1] 長野野菜花き試，[2] 明治大農学部）	**生育生理等（ウリ科）** **古川 一** 野 022 シュートヒータを着果節より上位および下位の節間に装着した温室メロンおよびスイカの糖含量の比較 ○加納 恭卓[1]・鈴木 章文[2]・市原 叡[1]・城戸口 達也[1]・新宅 恵[1]（[1] 石川県立大，[2] 愛知東三河農林水産事務所水産事務所）	**施肥・栽培（キャベツ等）** **高田 敦之** 野 043 セル内施用によるキャベツのリン酸減肥栽培技術　第 3 報 2 年連用による影響 ○小塚 玲子[1]・町田 剛史[1,3]・岩佐 博邦[1]・菊地 直[2]・草川 知行[1]（[1] 千葉農林総研セ，[2] 農研機構野菜茶研，[3] 千葉山武農事）
9:15	果 002 リンゴのカラムナー性を制御する *Co* 遺伝子座乗領域のクローニング ○岡田 和馬[1]・森谷 茂樹[1]・藤澤 弘子[2]・呉 健忠[2]・片寄 裕一[2]・寺上 伸吾[3]・山本 俊哉[3]・阿部 和幸[1]（[1] 農研機構果樹研（盛岡），[2] 生資研，[3] 農研機構果樹研）	果 025 カンキツ類のポリメトキシフラボノイド含有量における果皮と葉の関係 ○中嶌 輝子[1]・小川 一紀[2]（[1] 静岡農林研果樹研究セ，[2] 農研機構果樹研）	果 048 多着花をもたらすカキわい性台木 MKR1 が穂木の成長に及ぼす影響 ○鉄村 琢哉[1]・石村 修司[1]・日高 拓未[2]・原ノ後 翔[2]・甲斐 祐介[1]・内田 好則[1]・本勝 千歳[1]（[1] 宮崎大農学部，[2] 宮崎大院農学研究科）	野 002 高温期におけるトマト根域冷却が根の活性・内生 IAA 濃度および吸肥特性に与える影響 ○河崎 靖[1,2]・松尾 哲[1]・鈴木 克己[1]・金山 喜則[2]・金浜 耕基[2]（[1] 農研機構野菜茶研，[2] 東北大院農学研究科）	野 023 ネットの発達に伴うネットメロンの水分損失の変化とネットの水分保持能力 ○西沢 隆[1]・プットミータニチャヤ[2]・高橋 健児[1]・菅原 みどり[1]・川又 理恵子[1]・元村 佳恵[1]・相川 敏之[3]・カンプーン ウィラワン[4]（[1] 山形大農学部，[2] 岩手大院連合農学研究科，[3]（株）関東農産，[4] チェンマイ大科学技術研究所）	野 044 土壌中の可給態リン酸，交換性カリがキャベツの球重に及ぼす影響 ○武田 悟・石田 頼子・中川 進平・伊藤 正志（秋田農試）
9:30	果 003 リンゴ MdPI 抑制リンゴの解析 ○和田 雅人[1]・田中 紀充[2]・守谷（田中）友紀[1]・花田 俊男[1]・本多 親子[1]・岩波 宏[1]・小森 貞夫[3]（[1] 農研機構果樹研，[2] 弘前大農学生命科学部，[3] 岩手大農学部）	果 026 ビワ新品種‘はるたより’ ○稗圃 直史・福田 伸二・富永 由紀子・浅田 謙介・寺井 理治・長門 潤・中山 久之・中尾 敬・佐藤 義彦・根角 博久・橋本 基之・石本 慶一郎（長崎農技開発セ）	果 049 カキわい性台木 MKR1 が‘平核無’の光合成速度に与える影響 ○石村 修司[1]・日高 拓未[2]・原ノ後 翔[2]・甲斐 裕介[1]・内田 好則[1]・本勝 千歳[1]・鉄村 琢哉[1]（[1] 宮崎大農学部，[2] 宮崎大院農学研究科）	野 003 CO_2 施用条件下での加湿制御がトマトの生育と養分吸収に及ぼす影響 ○鈴木 真実[1,2]・岩崎 泰永[1]・河崎 靖[1]・安 東赫[1]・鈴木 克己[1]・浜本 浩[1]（[1] 農研機構野菜茶研，[2] 名古屋大院生命農学研究科）	野 024 キュウリの LED 補光における気温と個葉光合成速度ならびに補光量と果実収量との関係 ○彦坂 晶子・藤野 浩気・麻生 由布・後藤 英司（千葉大院園芸学研究科）	野 045 葉菜類の全面マルチ栽培におけるうね内部分施肥技術の適用性 ○北林 聡[1]・小澤 智美[1]・星野 英正[2]・塩川 正則[1]・屋代 幹雄[3]（[1] 長野野菜花き試，[2] 長野野菜花き試佐久支場，[3] 農研機構中央農研）
9:45	果 004 リンゴのカラムナー遺伝子に連鎖した葉形質に関する QTLs ○森本 拓也・大西 弘法・伴野 潔（信州大農学部）	果 027 静岡伊豆地域におけるキイチゴ属野生種の果実品質と抗酸化能 ○武藤 浩志[1]・栗原 沙織[2]・久保田 通代[2]・金子 修治[1]・細谷 孝博[2]・熊澤 茂則[2]（[1] 静岡農林研伊豆農研セ，[2] 静岡県大）	果 050 カキ種子の発根と接ぎ木樹の新根成長に伴う細胞組織構造の比較 ○ Tuladhar Astha・新居 直助（名城大）	野 004 Incidence of blossom-end rot in tomatoes in relation to Ca absorption and Ca/K ratio in nutrient solution ○ Tran Duy Vinh・吉田 裕一・大山 光男・後藤 丹十郎・田中 義行（岡山大院環境生命科学研究科）	野 025 低濃度エタノール土壌還元消毒法におけるエタノール減量処理がキュウリのネコブセンチュウおよびその被害に及ぼす影響 ○大木 浩・佐藤 侑美佳・鈴木 秀章（千葉農林総研セ）	野 046 春ダイコンの簡易被覆栽培における抽台特性 ○吉橋 泰彦（東総野菜研究室）
10:00	**リンゴ** **荒川 修** 果 005 リンゴ‘ふじ’斜形果発生の原因と対策 ○松本 省吾[1]・前島 勤[2]・小嶋 明日香[1]・白武 勝裕[1]・太田垣 駿吾[1]・副島 淳一[3]（[1] 名古屋大院生命農学研究科，[2] 長野果樹試，[3] 農研機構果樹研）	**カンキツ 1** **市ノ木山 浩道** 果 028 シートマルチ栽培されるカンキツ‘はれひめ’における樹勢回復と果実品質に及ぼす点滴かん水同時施肥の効果 ○三堂 博昭[1]・根角 博久[2]・藤原 文孝[1]・安部 伸一郎[3]（[1] 愛媛農研果樹研セ，[2] 農研機構近中四農研，[3] 愛媛農林水産部）	**ブドウ 1** **伴 雄介** 果 051 ブドウ‘シャインマスカット’における有色果実袋利用が果実品質に及ぼす影響 ○米野 智弥・今部 恵里（山形農業総研セ園試）	**養液栽培等（トマト）** **村上 賢治** 野 005 低濃度 NaCl 混合養液施用がトマト固形培地耕における安定的培地塩類集積と生育・収量に及ぼす影響 ○伊東 ゆみ彦・切岩 祥和・糠谷 明（静岡大院農学研究科）	**育種・品種特性（ウリ科）** **彦坂 晶子** 野 026 楕円フーリエ記述子に基づくキュウリ果実形態の多様性評価と遺伝効果の推定 ○下村 晃一郎[1]・杉山 充啓[1]・川頭 洋一[1]・吉岡 洋輔[1,2]（[1] 農研機構野菜茶研，[2] 筑波大院生命環境）	**栽培・病虫害（レタス等）** **大和 陽一** 野 047 キャベツの生育における地球温暖化の影響評価（第 5 報）花芽分化期予測モデル化の検討 ○高田 敦之[1]・太田 和宏[1]・北浦 健生[1]・岡田 邦彦[2]（[1] 神奈川農技セ，[2] 農研機構野菜茶研）
10:15	果 006 神奈川県におけるリンゴの樹体ジョイント仕立てによる栽培法の開発　2．側枝下垂誘引強度と品種の違いが定植 3 年目の収量に及ぼす影響 ○武田 甲[1]・岡本 保[1]・柴田 健一郎[2]（[1] 神奈川農技セ（北相），[2] 神奈川農技セ）	果 029 点滴かん水同時施肥によるウンシュウミカン苗木の肥培管理法の検討 ○中村 明弘・吉川 公規（静岡農技研果樹研セ）	果 052 ブドウ‘シャインマスカット’の果粒軟化後に発生した成熟遅延粒の特徴 ○金澤 淳[1]・倉藤 祐輝[2]・岸 弘明[1]（[1] 岡山農林水産総セ農研，[2] 元岡山農林水産総セ農研）	野 006 異なる肥培管理が低段密植栽培トマトの葉部倍数性に及ぼす影響 ○切岩 祥和・畑山 真穂・杉村 麻衣・八幡 昌紀・糠谷 明（静岡大院農学研究科）	野 027 仕立て法と栽培環境の違いが国内および海外キュウリ品種の生育，収量に及ぼす影響 ○岩崎 泰永・安 東赫・下村 晃一郎・東出 忠桐・中野 明正（農研機構野菜茶研）	野 048 ステージ進行を考慮した日平均気温による暖候期レタス抽苔長推定式の改良 ○岡田 邦彦[1]・塩川 正則[2]・星野 英正[3]・土屋 宣明[2]（[1] 農研機構野菜茶研，[2] 長野野菜花き試，[3] 長野野菜花き試佐久支場）

第 1 日　9 月 20 日（金）　9:00 ～ 10:30

G 会場 G28 野菜 IV	H 会場 G31 花き I	I 会場 G35 花き II	K 会場 G1大 利用 I	時 間
栽培（その他） **森田 隆史** 野 062 収穫前における窒素成分の補給停止が水耕ミズナの生育と品質に及ぼす影響 ○桐村 聡子[1]・近藤 謙介[2]・中田 昇[2]・山口 武視[2]・山名 伸樹[2]・松添 直隆[3]・和島 孝浩[3]（[1]鳥取大院農学研究科，[2]鳥取大農学部，[3]熊本県立大環境共生学部）	**遺伝資源** **小林 伸雄** 花 001 エドヒガンの自家不和合性 *S* 遺伝子ハプロタイプ全国分布 ～‘ソメイヨシノ’の種子親の起源地推定～ ○齋藤 ちひろ[1]・秋和 森恵[2]・高部 知史[2]・國分 尚[1]・渡辺 均[3]・三吉 一光[1]・安藤 敏夫[1]（[1]千葉大院園芸学研究科，[2]千葉大園芸学部，[3]千葉大環境健康フィールド科セ）	**栽培・作型 1** **住友 克彦** 花 025 新たに開発した広照射 LED-FR 光源がストック・トルコギキョウの生育に及ぼす影響 ○岸本 真幸[1]・米澤 朗[1]・山本 圭介[2]・保本 正美[3]・田中 章人[4]・谷口 浩章[5]（[1]鳥取農林総研園試，[2]鳥取県庁，[3]（財）鳥取県産業振興機構，[4]（株）フィアライト，[5]（株）フジ電機）	**果実成熟 / 鮮度保持** **日坂 弘行** 利 001 セイヨウナシ果実における樹上成熟ならびに追熟中の代謝産物の変動 ○村山 秀樹[1]・小飯塚 紗季[1]・板井 章浩[2]・斉藤 和季[3,4]・及川 彰[1,3]（[1]山形大農学部，[2]鳥取大農学部，[3]理研 PSC，[4]千葉大院薬学研究院）	9:00
野 063 ジベレリン処理の効果に作用する要因の解明 ○吉田 康徳・橋本 圭太・細越 馨織・加賀谷 涼平・神田 啓臣・高橋 春實（秋田県立大生物資源科学部）	花 002 頸城山塊周辺に自生するヤマアジサイ及びエゾアジサイの系統解析 上町 達也・○樹下 眞人・千頭 航（滋賀県立大環境科学部）	花 026 花芽分化後のトルコギキョウへの摘心処理の節数が側枝の花芽形成におよぼす影響 ○田中 博一（島根農技セ）	利 002 トマト β - ガラクトシダーゼ 4 の結晶構造解析 ○石丸 恵[1]・枝 真広[2]・多田 俊治[2]（[1]近大生物理工，[2]大阪府大院理学系）	9:15
野 064 異なる貯蔵方法におけるチコリー根株の長期保存と春季栽培 ○山川 梨奈[1]・熊野 貴宏[1]・横田 富男[2]・荒木 肇[3]（[1]北大院環境科学院，[2]ヨコタ設備（株），[3]北大北方生物圏セ）	花 003 伊豆半島南部の自生ユリ類の花の形態的特性 ○山際 豊・山本 宏道（静岡農林研伊豆セ）	花 027 一定日長下におけるダリアの開花節位と摘心後到花日数の時期変動 角川 由加[2]・○仲 照史[1]・虎太 有里[1]（[1]奈良農総セ，[2]奈良東部農林振興事務所）	利 003 1-MCP 処理およびポリエチレン包装によるカキ‘太秋’の食感保持技術の開発 ○鈴木 哲也[1]・新川 猛[1]・櫻井 直樹[2]（[1]岐阜農技セ，[2]広島大院生物圏科学研究科）	9:30
野 065 ‘ヒュウガギボウシ’における吸水種子の低温処理が発根に及ぼす影響 ○杉村 和実（宮崎総農試薬草・地域作物セ）	花 004 NCED3a 遺伝子から見た栽培ギクの起源 本原 宏一郎[1]・○谷口 研至[1]・韓 晶[2]・山根 虹子[1]・中田 政司[3]・世羅 徹哉[4]・井上 尚子[4]・陳 瑞陽[5]・納 海燕[6]・スレイマン マムテイミン[7]・陳 力[5]・梁 国鲁[8]・李 先源[8]・鄧 紅紅[8]・草場 信[1]（[1]広島大院理学研究科，[2]アクセンチュア（大連），[3]富山中央植物園，[4]広島市植物公園，[5]南開大生命科学学院，[6]四川大生命科学院，[7]新疆大，[8]西南大園艺園林学院）	**栽培・作型 2** **梶原 真二** 花 028 キンギョソウの摘心栽培における日没後の昇温管理が生育・開花に及ぼす影響 ○稲葉 善太郎・馬場 富二夫・松田 健太郎・山際 豊（静岡農林研伊豆農研セ）	**サツマイモ** **村山 秀樹** 利 004 サツマイモ葉身ポリフェノール含量の季節変動および品種間差異 ○小林 透・倉田 理恵・甲斐 由美（農研機構九沖農研）	9:45
生理活性物質・栽培（その他） **吉田 康徳** 野 066 イチゴアレルゲン Fraa1 の IgE 反応性と果実における局在 ○夫津木 大輔[1]・奈邉 健[2]・新田 陽子[3]・鶴田 宏樹[4]・厳原 美穂[5]・野口 裕司[6]・宇野 雄一[1]（[1]神戸大院農学研究科・[2]京都薬科大，[3]岡山県立大保健福祉学部，[4]神戸大連携創造本部，[5](株)ビオスタ，[6]農研機構野茶研）	**育種・品種特性** **上町 達也** 花 005 ボタンの原種と中国牡丹の発達の歴史 ○細木 高志（島根大生物資源科学部）	花 029 日中の短時間昇温（daytime-heating）がコチョウランの生育に及ぼす影響 ○藤木 俊也（山梨総農技セ）	利 005 水分ストレスがサツマイモ地上部のカフェオイルキナ酸含量に与える影響 ○倉田 理恵・小林 透・甲斐 由美（農研機構九沖農研）	10:00
野 067 エゾワサビ葉抽出物を用いた大腸菌増殖抑制 ○阿部 圭馬[1]・木戸 重範[1]・嘉見 大助[2]・杉山 慶太[2]・志村 華子[1]・鈴木 卓[1]（[1]北海道大院農，[2]農研機構北農研）	花 006 大輪で絞りのある香りツバキ‘耳納の香’の育成 ○巣山 拓郎[1]・井樋 昭宏[1]・國武 利浩[1]・佐伯 一直[1]・大久保 直美[2]（[1]福岡農総試果樹苗木分場，[2]農研機構花き研）	花 030 ベチュニアにおける EOD-heating 効果 ○岡澤 立夫・田旗 裕也（東京農林総研セ）	利 006 サツマイモ品種における食味特性の解明および食味官能値による食味関連要素の予測 ○安藤 利夫・家壽多 正樹・日坂 弘行（千葉農林総研セ）	10:15

第 1 日　9 月 20 日（金）　10:30 ～ 12:00

時間	A 会場 G42 果樹 I	B 会場 G41 果樹 II	C 会場 G45 果樹 III	D 会場 G2大 野菜 I	E 会場 G22 野菜 II	F 会場 G29 野菜 III
10:30	果 007 予備摘果時期がリンゴ‘ファーストレディ’の早期みつ症に及ぼす影響 ○仲條 誉志幸[1]・小野寺 玲子[2]・原田 芳郎[1]・佐藤 光明[1]・和田 雅人[3]・高橋 和博[4]（[1]山形農総研セ園試，[2]山形村山総支農技普課，[3]農研機構果樹研，[4]山形県庁）	果 030 気象条件が‘青島温州’の果実比重と酸含量に及ぼす影響，及び気象データを利用した果実比重の予測 ○高橋 哲也・菊池 佑弥（静岡農林技研果樹研セ）	果 053 ベレゾーン期に植物成長調整剤を処理したブドウ‘シャインマスカット’果実の成熟と遺伝子発現 ○末廣 優加[1]・江角 智也[1]・持田 圭介[2]・板村 裕之[1]（[1]島根大院生物資源科学研究科，[2]島根農技セ）	野 007 養液栽培におけるトマト心腐れ果発生に及ぼす摘葉の影響 ○深山 陽子[1]・寺林 敏[2]（[1]神奈川農技セ，[2]京都府大院生命環境科学研究科）	野 028 食用種子ペポカボチャ品種‘ストライプペポ’の育成 ○嘉見 大助[1]・室 崇人[1]・伊藤 喜三男[1]・森下 昌三[2]・野口 裕司[3]・杉山 慶太[1]（[1]農研機構北農研，[2]農研機構九沖農研，[3]農研機構野菜茶研）	野 049 遮水シート溝式地下灌漑システムからの給水によるレタスの生育 ○佐々木 英和[1]・平尾 和弘[2]・小野寺 恒雄[3]・島田 信二[4]・岡田 邦彦[1]（[1]農研機構野菜茶研，[2]クボタシーアイ（株），[3]（株）パディ研究所，[4]農研機構中央農研）
10:45	果 008 リンゴにおける早期落果性の品種間差の評価方法 ○岩波 宏・守谷（田中）友紀・本多 親子・花田 俊男・和田 雅人（農研機構果樹研）	果 031 カンキツ「菊池レモン」の栽培方法の違いが生育および果実品質に及ぼす影響 ○菊池 知古（東京島しょ農水セ八丈）	果 054 myb 遺伝子を利用した着色良好な四倍体ブドウ品種育成の効率化 ○山下 浩輝・雨宮 秀仁・小林 和司（山梨果樹試）	野 008 異なる作期のトマト低段密植栽培における肥効調節型肥料を用いた施肥管理と果実収量との関係 ○木下 貴文[1,2]・矢野 孝喜[1]（[1]農研機構近中四農研，[2]農研機構東北農研）	**植物工場等（葉菜）** **西沢 隆** 野 029 人工光型植物工場におけるハクサイの生産 ○大塩 貴寛[1]・丸尾 達[2]・下山 真人[3]（[1]千葉大環境健康フィールド科学センター，[2]千葉大園芸学研究科，[3]（株）大林組）	野 050 拮抗作用を有する *Bacillus* 属を利用したレタス根腐病の病害防除 ○栗林 伴幸[1]・中島 和彦[2]・大井 美知男[2]（[1]KOA（株），[2]信州大院農学研究科）
11:00	**不和合性（ナシ等）** **櫻井 健二** 果 009 ニホンナシの自家不和合性に関する研究．（第 63 報）雌蕊と花台による重金属の吸収特性と着果促進効果 ○林田 大志・森 美雪・名田和義・平塚 伸（三重大院生物資源学研究科）	果 032 溶液受粉が‘土佐文旦’の結実および収量に及ぼす影響 ○廣瀬 拓也（高知農技セ果樹試）	**スモモ・モモ・オウトウ** **別府 賢治** 果 055 Effects of the Joint Tree Training System and Shoot Angle on Endogenous Phytohormone Level and Flowering in Japanese Plum ‘Kiyo’ ○ Chutinanthakun Theerawut[1]・Maninang John[1]・平井 一幸[2]・吉岡 正明[2]・菅谷 純子[3]・瀬古澤 由彦[3]・弦間 洋[3]（[1]筑波大院生命環境科学研究科，[2]群馬農技セ，[3]筑波大生命環境系）	**育種・品種特性** **（トマト等）** **深山 陽子** 野 009 養液栽培による長期多段どり栽培で高糖度・多収性を示すトマト育種の可能性 ○松永 啓・齊藤 猛雄・斎藤 新（農研機構野菜茶研）	野 030 人工光型植物工場における異なる照明（LED および HEFL）によるレタス類の生育 ○高橋 大喜[1]・後藤 英幸[1]・佐々木 又英[1]・大日向 和樹[2]・佐藤 真[2]・山本 将嗣[3]・辻 昭久[3]・西原 英治[4]（[1]横手精工（株）・[2]（株）大日向，[3]日本アドバンストアグリ（株），[4]鳥取大農学部）	
11:15	果 010 ニホンナシにおける自家・他家受粉後の花粉管微細構造の変化 ○李 麗怡・時安 美奈・朴 杓允・安田 剛志（神戸大院農学研究科）	**クリ等** **高田 大輔** 果 033 シラカシ（Quercus myrsinifolia）の葉と果実における放射性セシウムによる汚染経路の検討 ○杉浦 広幸[1]・河野 圭助[1]・香山 雪彦[1]・村松 康行[2]（[1]福島学院大，[2]学習院大理学部）	果 056 構造解析によるモモの樹体ジョイント仕立て棚の開発 ○須川 瞬[1]・佐々木 憲吾[2]・岩谷 稔[2,3]・浜名 洋司[1]・平尾 晃[1]（[1]広島総研農技セ，[2]広島総研西部工技セ生産技術アカデミー，[3]広島総研西部工技セ）	野 010 トマトの日本品種の収量はオランダの台木品種‘Maxifort’への接木で増加する ○東出 忠桐・中野 明正・安場 健一郎（農研機構野菜茶研）	野 031 高輝度赤色 LED 光源による暗期中補光が周年で水耕したレタスならびにシュンギクの生育に及ぼす影響 ○福田 直也[1]・高橋 奈津子[2]・Wimonwat Banphathi[4]・関口 耕助[3]・石井 雅久[4]・奥島 里美[4]・佐瀬 勘紀[5]（[1]筑波大生命環境系，[2]筑波大生物資源学類，[3]筑波大院生命環境科学研究科，[4]農研機構農工研，[5]日本大生物資源科学部）	
11:30	果 011 S2-RNase 周辺 BAC コンティグの拡張による PpSFBB 遺伝子群の探索 II ○藤田 裕樹[1]・クルバン ズムラット[1]・斉藤 寿広[2]・安田 剛志[1]（[1]神戸大院農学研究科，[2]農研機構果樹研）	果 034 アーバスキュラー菌根菌とそのパートナー細菌がマカダミア接木苗の生長に及ぼす影響 ○堀井 幸江・米田 基人・石井 孝昭（京都府立大院生命環境科学研究科）	果 057 オウトウのメタボローム・ホルモノーム解析 ○及川 彰[1,2]・大塚 貴生[1]・中林 亮[1]・軸丸 裕介[3]・五十鈴川 寛司[4]・村山 秀樹[2]・斉藤 和季[1,5]・白武 勝裕[6]（[1]理研 CSRS，[2]山形大農学部，[3]アジレント・テクノロジー（株），[4]山形農総研セ園試，[5]千葉大院薬学研究院，[6]名古屋大院生命農学研究科）	野 011 ナス半身萎凋病抵抗性素材の検索（2010 ～ 2013 年） ○齊藤 猛雄・松永 啓・斎藤 新（農研機構野菜茶研）	野 032 シソ（オオバ）斑点病に及ぼす緑色光照射の影響 ○工藤 りか・山本 敬司（（株）四国総合研究所）	
11:45	果 012 ビワの新規自家不和合性遺伝子（S 遺伝子）とビワ遺伝資源の S 遺伝子型推定 ○石本 慶一郎・福田 伸二・中山 久之・稗圃 直史（長崎農技セ果樹）					

第 1 日　9 月 20 日（金）　10:30 ～ 12:00

G 会場 G28 野菜 IV	H 会場 G31 花き I	I 会場 G35 花き II	K 会場 G1大 利用 I	時 間
野 068 野菜類の湛水害発生に及ぼす水温の影響 ○東尾 久雄[1]・相澤 証子[2]・國久 美由紀[3]・村上 健二[4]・徳田 進一[2]・浦上 敦子[2] ([1] 茨城大農学部, [2] 農研機構野菜茶研, [3] 農研機構果樹研, [4] 農研機構近中四農研)	花 007 ユリ小球開花性選抜系統‘鳥鱗 1 号’の育成経過とその特性 ○大津 真士・前田 香那子・前田 英博・岸本 真幸（鳥取農林総研園試）	**発育・形態生理・生理障害** **高村 武二郎** 花 031 高温によるキンギョソウ花の矮小化とオーキシンの関係 ○湯本 弘子[1]・仁木 朋子[1]・添野 和雄[2]・渋谷 健市[1]・市村 一雄[1]（[1] 農研機構花き研, [2] 農研機構近中四農研）	**ダイコン青変症** **櫻井 直樹** 利 007 ダイコン根を用いたダイコン青変症の発症リスク評価法 ○寺西 克倫[1]・永田 雅靖[2]・増田 大祐[3]・池下 洋一[4]・増田 義彦[5]（[1] 三重大院生物資源学研究科, [2] 農研機構野菜茶研, [3] 石川農林総研セ, [4] 石川県央農林事務所, [5] 神奈川農技セ）	10:30
野 069 数種の蔬菜とハーブの混植が成長と虫害の発生に及ぼす影響 ○森田 隆史・中尾 義則・村瀬 智也・土屋 照二（名城大農学部附属農場）	花 008 日本の冬咲き性および春咲き性スイートピーにおける刷毛目模様の遺伝様式 ○柳下 良美[1,2]・原 靖英[1]・中山 真義[2,3]（[1] 神奈川農技セ, [2] 筑波大院生命環境学研究科, [3] 農研機構花き研）	花 032 シュッコンカスミソウ‘アルタイル’における形態異常花序発生抑制のための加温方法の検討 ○山口 訓史[1]・後藤 丹十郎[1]・吉田 裕一[1]・田中 義行[1]・谷 一道[2]・宮内 勝久[2]・原田 ゆうき[1]（[1] 岡山大院環境生命科学研究科, [2] ミヨシ）	利 008 種子を用いたダイコン青変症のリスク評価法 ○永田 雅靖[1]・寺西 克倫[2] ([1] 農研機構野菜茶研, [2] 三重大院生物資源学研究科)	10:45
	育種・遺伝子解析 **小野崎 隆** 花 009 超微小茎頂分裂組織培養法を用いた短期間のキクわい化ウイロイド抵抗性の評価 ○鍋島 朋之[1]・細川 宗孝[1]・矢野 志野布[2]・大石 一史[3]・土井 元章[1]（[1] 京都大院農学研究科, [2]（有）精興園, [3] 愛知総農試）	花 033 ダリア‘ネッショウ’における色抜けの抑制に向けた系統選抜と簡易的な管理法の検討 北村 嘉邦・○田内 康裕（信州大農学部）		11:00
	花 010 スプレーギクにおけるシンクロトロン光照射による花色変異誘発 ○坂本 健一郎[1]・西 美友紀[1]・石地 耕太朗[2]・髙取 由佳[1]・千綿 龍志[1]・大藪 榮興[1] ([1] 佐賀農試研セ, [2] 九州シンクロトロン光研セ)	**成分・色・香り** **市村 一雄** 花 034 アジサイの新しい商品価値である秋色花色の発現に関わる要素 ○小玉 雅晴[1]・井上 博道[2]・谷川 奈津[3]・中山 真義[3] ([1] 栃木農試, [2] 農研機構果樹研, [3] 農研機構花き研)		11:15
	花 011 輪ギク効率的育種のための, ダミノジット処理による管状花増加 ○五藤 由香理・寺田 吉徳（静岡農林研）	花 035 リナロール合成酵素遺伝子を導入したラバンジン形質転換体の作出と葉の精油分析 浅田 怜志・○津呂 正人（名城大農学部）		11:30
	花 012 トレニア「雀斑」における DNA 型トランスポゾン Ttf1 の転移特性と変異誘発様相 ○西島 隆明[1,2]・仁木 智哉[1,2] ([1] 農研機構花き研, [2] 筑波大院生命環境科学研究科)	花 036 チューリップ野生種の香気成分の多様性 ○大久保 直美[1]・辻 俊明[2] ([1] 農研機構花き研, [2] 富山農技セ園研)		11:45

第 2 日　9 月 21 日（土）　9:00 ～ 10:30

時間	A 会場 G42 果樹 I	B 会場 G41 果樹 II	C 会場 G45 果樹 III	D 会場 G2大 野菜 I	E 会場 G22 野菜 II	F 会場 G29 野菜 III
9:00	**ニホンナシ 1** **瀬古澤 由彦** 果 013 Changes of tree growth and fruit quality of 'Niitaka' pear as affected by seasonal variation in CO2 concentration and temperature ○ Kim Jung-Hee・Han Jeom-Hwa・Park Jeong-Kwan・Kim Seung-Heui・Cho Jung-Gun・Han Hyun-Hee・Jeong Jae-Hoon・Do Gyung-Ran（National Institute of Horticultural and Herbal Science, Rural Development Administration（RDA）, KOREA）	**カンキツ 2** **鉄村 琢哉** 果 035 ジベレリンはウンシュウミカン果皮の光合成を促進する ○平塚 伸・阿曽 大佑・名田 和義（三重大院生物資源学研究科）		**遺伝子解析** **伊藤 康博** 野 012 Verifiction using PRINS labeling technique for chromosome specificity of CAPS markers in strawberries 柳 智博 [1]・○ Tantivit Kornlawat[1]・奥田 延幸 [1]・磯部 祥子 [2]・Nathewet Preeda[3]（[1] 香川大農学部 , [2] かずさ DNA 研 , [3] メチョー大農産学部）	**育種・品種特性** **（アブラナ科）** **由比 進** 野 033 えき芽を利用した伝統野菜のさし木およびマイクロプロパゲーション法の確立 ○古川 一 [1]・水上 志穂 [2]・中島 悠 [2]・清水 慎也 [3]・山崎 基嘉 [3]（[1] 大阪府立大院生命環境科学研究科 , [2] 大阪府立大生命環境科学部 , [3] 大阪環農水研）	**栽培等（アスパラガス）** **尾崎 行生** 野 051 アスパラガス促成栽培養成株堀り上げ後の冷蔵処理の検討 ○篠田 光江・本庄 求・武田 悟（秋田農試）
9:15	果 014 ニホンナシ系統 TH3 と少低温要求性タイワンナシ横山との F2 系統における自発休眠特性 ○志田 曜司 [1]・竹村 圭弘 [2]・黒木 克翁 [3]・田村 文男 [2]（[1] 鳥取大院農学研究科 , [2] 鳥取大農学部 , [3] 鳥取大院連合農学研究科）	果 036 カンキツオイル粉末は鶏ふんから発生する悪臭物質を減少させる ○石井 孝昭 [1]・難波江 祐介 [2]・安永 圭介 [2]・中田 大介 [3]・寺尾 啓二 [3]（[1] 京都府立大院生命環境科学研究科 , [2] 愛媛農水研畜セ養鶏研 , [3]（株）シクロケム）		野 013 8 倍体栽培種イチゴ（Fragaria x ananassa）と野生種のゲノム構造比較 平川 英樹 [2]・白澤 健太 [1]・小杉 俊一 [1]・佐藤 修正 [2]・田畑 哲之 [1]・前田 ふみ [3]・柳 智博 [4]・秦 国新 [5]・○磯部 祥子 [1]（[1] かずさ DNA 研究所 , [2] 東北大院生命科学研科 , [3] 千葉農林総研セ , [4] 香川大農学部 , [5] 重慶市南山植物園）	野 034 ハクサイ F_1 品種 **W77** における初期生育と収穫期の雑種強勢の評価 ○川辺 隆大 [1]・阿部 寛史 [1]・佐伯 なつみ [1]・清水 元樹 [1]・今野 周平 [2]・加治 誠 [2]・藤本 龍 [1]（[1] 新潟大院自然科学研究科 , [2]（株）渡辺採種場）	野 052 アスパラガス伏せ込み促成栽培用 2 年生株の充実過程 ○二階堂 華那 [1]・鈴木 卓 [2]・市川 伸次 [3]・河合 孝雄 [3]・荒木 肇 [3]（[1] 北海道大院環境科学院 , [2] 北海道大院農学研究院 , [3] 北海道大北方生物圏セ）
9:30	果 015 セイヨウナシ花粉の受粉がニホンナシの低温条件での結実および果実品質に及ぼす影響 ○黒木 克翁 [1]・丸森 啓紀 [2]・尾形 祐輔 [3]・竹村 圭弘 [3]・田村 文男 [3]（[1] 鳥取大院連合農学研究科 , [2] 鳥取大院農学研究科 , [3] 鳥取大農学部）	果 037 ウンシュウミカンにおいて葉の切除は茎のカンキツ FLOWERING LOCUS T の発現を抑制する ○西川 芙美恵・岩崎 光徳・深町 浩・遠藤 朋子（農研機構果樹研）		野 014 Genome-wide identification and expression analysis of aquaporin and sugar transporter genes in *Solanum leucopersicum*. ○ Reuscher Stefan[1]・秋山 真仁 [1]・森 智治 [1]・安田 智英 [1]・太田垣 駿吾 [1]・松本 省吾 [1]・青木 考 [2]・柴田 大輔 [3]・白武 勝裕 [1]（[1] 名古屋大院生命農学研究科 , [2] 大阪府立大院生命環境科学域 , [3] かずさ DNA 研）	野 035 ハクサイ F1 品種 W39 における生育初期及び収穫期の雑種強勢の評価 ○佐伯 なつみ [1]・川辺 隆大 [1]・阿部 寛史 [1]・今野 周平 [2]・清水 元樹 [1]・加治 誠 [2]・藤本 龍 [1]（[1] 新潟大院自然科学研究科 , [2]（株）渡辺採種場研究部）	野 053 アスパラガス伏せ込み促成栽培における休眠および収量と関連した貯蔵根中炭水化物の動態 ○鈴木 卓 [1]・遠山 智之 [1]・島田 翔平 [1]・稲野辺 秀一 [1]・植野 玲一郎 [2]・酒井 浩晃 [3]・新里 仁克 [4]・元木 悟 [5]（[1] 北海道大院農 , [2] 道南農試 , [3] 長野野菜花き試 , [4] 沖縄農研セ , [5] 明治大農学部）
9:45	果 016 ニホンナシ自家和合性品種の自家結実性の品種間差異とその要因 ○丸森 啓紀 [1]・黒木 克翁 [2]・尾形 祐輔 [3]・池田 隆政 [4]・松本 辰也 [5]・竹村 圭弘 [1,3]・田村 文男 [1,3]（[1] 鳥取大院農学研究科 , [2] 鳥取大院連合農学研究科 , [3] 鳥取大農学部 , [4] 鳥取園試 , [5] 新潟農総研園研セ）	**スモモ・ウメ** **八重垣 英明** 果 038 ニホンスモモ交雑育種における選抜水準を超える遺伝子型値の果実重を持つ子の出現率の推定 ○新谷 勝広 [1]・竹腰 優 [1]・山田 昌彦 [2]・佐藤 明子 [3]・雨宮 秀仁 [1]・三宅 正則 [1]・猪股 雅人 [1]（[1] 山梨県果樹試験場 , [2] 農研機構果樹研 , [3] 山梨県庁）		野 015 トマト ADP-glucose pyrophosphorylase 遺伝子 RNAi 形質転換体の塩ストレス応答 ○松倉 千昭 [1]・大野 友輔 [2]・佐藤 未来 [1]・黄 永根 [1]・後藤 幸久 [1]・福田 直也 [1]・江面 浩 [1]（[1] 筑波大院生命環境科学研究科 , [2] 筑波大生物資源学類）	野 036 根こぶ病抵抗性遺伝子 *Crr1* と *Crr2* を有する合成ナプスと西洋ナタネとの交雑 F_2 における抵抗性遺伝子型と表現型の関係 ○小原 隆由・柿崎 智博・吹野 伸子・畠山 勝徳・松元 哲・石田 正彦（農研機構野菜茶研）	野 054 アスパラガスの作型前進のための改良マルチ栽培法の検討 常盤 秀夫 [1]・○元木 悟 [2]・松永 邦則 [3]・浦上 敦子 [4]・清水 佑 [2]・飯塚 明範 [2]・山口 貴之 [5]・北澤 裕明 [6]・芳賀 紀之 [7]・北條 怜子 [2]・細田 絢子 [2]・大中 創太 [2]・柘植 一希 [2]・樋口 洋子 [2]・春原 奈々 [2]・寺崎 亮 [8]・池浦 博美 [2]・前田 智雄 [9]（[1] 福島農総セ , [2] 明治大農学部 , [3] パイオニア・エコサイエンス（株）, [4] 農研機構野菜茶研 , [5] 岩手農研セ , [6] 農研機構食総研 , [7] 福島県庁 , [8] 明治大院農学研究科 , [9] 弘前大農学生命科学部）
10:00	果 017 ナシにおけるメタキセニア現象の分子機構の解析 ○板井 章浩 [1]・児玉 克也 [1]・虎尾 亮 [1]・金高 伸悟 [1]・森下 恭行 [1]・西谷 千佳子 [2]・山本 俊哉 [2]・清水 徳朗 [2]・及川 彰 [3,4]・斉藤 和季 [4]・羽生 剛 [5]・村山 秀樹 [3]（[1] 鳥取大農学部 , [2] 農研機構果樹研 , [3] 山形大農学部 , [4] 理研 PSC, [5] 愛媛大農学部）	果 039 西日本におけるプルーンの品種特性と適応品種の選定 ○大畑 和也 [1,2]・内田 吉紀 [1]・倉橋 孝夫 [1]・板村 裕之 [3]（[1] 島根農技セ , [2] 鳥取大院連合農学研究科 , [3] 島根大生物資源科学部）		**栽培・病虫害** **（ピーマン等）** **児玉 幸信** 野 016 異なる光量と光質による光照射がカラーピーマンの着色に及ぼす影響 ○高橋 正明 [1]・菰田 俊一 [2]・吉田 千恵 [3]・酒井 博幸 [1]・大鷲 高志 [1]（[1] 宮城農園総研 , [2] 宮城大食産業学部 , [3] 登米農改普セ）	**栽培・作型（イチゴ）** **西山 学** 野 037 イチゴの畝連続利用栽培（通称不耕起栽培）におけるハウス内環境と根群の発達について ○下村 克己 [1]・藤冨 慎一 [2]・平田 祐子 [3]・佐藤 公洋 [4]・井上 惠子 [1]・古賀 武 [1]（[1] 福岡農総試筑後 , [2] 福岡農総試 , [3] 八女普及セ , [4] 南筑後普及セ）	**栽培・生育生理等** **（アスパラガス）** **鈴木 卓** 野 055 アスパラガス長期栽培圃場における湛水太陽熱処理の現地実証　第 3 報　処理方法の簡易化について ○田川 愛 [1]・柳井 洋介 [2]・中島 寿亀 [1]・浦上 敦子 [2]（[1] 佐賀農試研セ , [2] 農研機構野菜茶研）
10:15	**遺伝子解析** **（ナシ・セイヨウナシ）** **金山 喜則** 果 018 ニホンナシ黒斑病罹病性遺伝子近傍領域の塩基配列決定 ○寺上 伸吾 [1]・奈島 賢児 [1]・足立 嘉彦 [1]・藤澤 弘子 [2]・佐々木 晴美 [2]・森 聡美 [2]・栗田 加奈子 [2]・金森 裕之 [2]・呉 健忠 [2]・松本 隆 [2]・片寄 裕一 [2]・國久 美由紀 [1]・西谷 千佳子 [1]・斎藤 寿広 [1]・山本 俊哉 [1]（[1] 農研機構果樹研 , [2] 生資研）	果 040 アントシアニン増量のための追熟に適したウメ「露茜」果実の収穫指標 ○大江 孝明・竹中 正好・岡室 美絵子（和歌山果樹試うめ研）		野 017 パプリカの光照射追熟のための早どりによる着果負担軽減が，上位節の着果率および収量に及ぼす影響 ○後藤 佳奈 [1]・伊藤 聡子 [1]・松永 啓 [2]（[1] 山形庄内産研 , [2] 農研機構野菜茶研）	野 038 クラウン部局所加温用テープヒータを活用したイチゴ栽培の省エネルギー性 ○鶴山 浄真 [1]・日高 輝雄 [1]・木宮 康雄 [2]・御旗 寛 [3]・山田 健仁 [4]（[1] 山口農総技セ , [2] 中國工業（株）, [3] 新立電機（株）, [4] 徳山高専）	野 056 アスパラガス改植法の検討（第 3 報） ○池内 隆夫（香川農試）

第 2 日　9 月 21 日（土）　9:00 ～ 10:30

G 会場 G28 野菜 IV	H 会場 G31 花き I	I 会場 G35 花き II	K 会場 G1大 利用 I	時 間
	キク・開花生理 **河鰭 実之** 花 013 キクの開花調節の鍵因子―アンチフロリゲン― ○樋口 洋平[1]・鳴海 貴子[2]・小田 篤[1]・中野 善公[1]・住友 克彦[1]・深井 誠一[2]・久松 完[1]（[1]農研機構花き研，[2]香川大農学部）	**組織培養** **水田 洋一** 花 037 オーキシン処理時間がヒノキの発根に及ぼす影響 ○茂木 靖和（岐阜森林研）	**カンキツ・保存** **久保 康隆** 利 009 収穫後温度がカンキツ果実中の糖・有機酸・アミノ酸集積に及ぼす影響と品種間差 ○松本 光・生駒 吉識（農研機構果樹研）	9:00
	花 014 キクの高温開花遅延にはFTL3 遺伝子の発現抑制が関与する ○中野 善公・樋口 洋平・住友 克彦・久松 完（農研機構花き研）	花 038 ブバルディアの大量増殖法における内生菌の影響 ○鈴木 克彰[1]・宮下 千枝子[1]・嘗原 優司[1]・竹内 浩二[2]・篠原 弘亮[3]（[1]東京農林総研セ，[2]東京島農林水総セ，[3]東京農大農学部）	利 010 レモンにおける生産者および消費者の需要動向 伊藤 栄治[1]・○金好 純子[2]・西川 祐司[3]・赤阪 信二[2]・中元 勝彦[2]（[1]広島総研企画部，[2]広島総研農技セ，[3]広島総研西部工技セ）	9:15
	花 015 夏秋ギクの暗期中断下での花芽分化における品種間差および長期間の低温処理の影響 ○住友 克彦・久松 完（農研機構花き研）	**栽培・作型３** **山中 正仁** 花 039 ヒメユリ（*L.concolor*）球根の組織培養による増殖―キヒメユリ（*var.mutsuanum f.coridion*）培養球根を利用した鉢花促成栽培― ○河原林 和一郎（静岡大農学部）	利 011 大学連携バイオバックアッププロジェクト（IBBP）による研究材料の保存 ○田中 大介（自然科学研究機構基礎生物学研 IBBP センター）	9:30
	花 016 赤色 LED による暗期中断の時間と光強度が夏秋ギク型スプレーギクの開花と花房の形状に及ぼす影響 ○佐々木 厚[1]・鈴木 誠一[2]・森山 厳與[3]・大川 秀樹[3]・金浜 耕基[4]（[1]宮城石巻農改普セ，[2]宮城農園総研，[3]東芝ライテック（株），[4]東北大院農学研究科）	花 040 山口県育成小輪系ユリ品種における球根貯蔵糖可給態化と休眠打破の関係 ○平田 翔[1]・堂之下 歩美[2]・嘉本 絵梨[2]・光永 拓司[3]・篠原 裕尚[3]・福光 優子[3]・藤田 淳史[3]・山内 直樹[2]・執行 正義[2]（[1]鳥取大院連合農学研究科，[2]山口大農学部，[3]山口農総技セ）	**その他** **今堀 義洋** 利 012 収穫後の近赤外光照射が数種野菜の蒸散，気孔開閉および活性酸素生成に及ぼす影響 ○髙附 亜矢子[1,2]・石田 豊[2]・垣渕 和正[2]・村田 芳行[1]・中野 龍平[1]・久保 康隆[1]（[1]岡山大院環境生命科学研究科，[2]（株）四国総研）	9:45
	開花生理・遺伝子解析 **山岸 真澄** 花 017 ユリの開花に伴う花被の表皮細胞と柔組織におけるエンド型キシログルカン転移酵素/加水分解酵素（XTH）とエクスパンシン遺伝子発現の変動 ○市村 一雄[1]・仁木 朋子[1]・渡邉 祐輔[2]（[1]農研機構花き研，[2]新潟農総研園研セ）	花 041 ラナンキュラスにおいて異なる種子冷蔵処理期間が生育開花に及ぼす影響 ○永友 佑樹[1]・中村 薫[1]・本田 由美子[2]・郡司 定雄[1]（[1]宮崎総農試，[2]宮崎西諸県農林振興局）	利 013 スペクトル測定によるシロイヌナズナの育成評価Ⅱ ○渡邊 絵梨・小澤 あつみ・永田 典子・今井 元（日女大理）	10:00
	花 018 概日リズムおよび直接的な光刺激により制御されるトルコギキョウの花の開閉運動 ○白 建芳・河鰭 実之（東京大院農学生命科学研究科）	**栽培・作型４** **深井 誠一** 花 042 シクラメンのマット底面給水栽培における送風処理が生育温度および開花に及ぼす影響 ○水谷 祐一郎・山中 正仁・玉木 克知（兵庫農総セ）	利 014 太陽光型植物工場の室内温度環境基礎調査 ○下山 真人[1]・久保 啓治[2]・溝田 陽子[1]・末田 香恵[1]（[1]（株）大林組技術研究所，[2]（株）大林組技術本部 BI 室）	10:15

第 2 日　9 月 21 日（土）　10:30 ～ 12:00

時間	A 会場 G42 果樹 I	B 会場 G41 果樹 II	C 会場 G45 果樹 III	D 会場 G2大 野菜 I	E 会場 G22 野菜 II	F 会場 G29 野菜 III
10:30	果 019 セイヨウナシ‘ラ・フランス’の果肉における成長ステージ別マイクロアレイ解析 ○奈島 賢児[1]・高橋 宏和[2]・中園 幹生[2]・清水 徳朗[1]・西谷 千佳子[1]・山本 俊哉[1]・板井 章浩[3]・花田 俊男[1,4]・高品 善[4,5]・五十鈴川 寛司[4]・白武 勝裕[2]（[1]農研機構果樹研，[2]名古屋大院生命農学研究科，[3]鳥取大農学部，[4]山形農総研セ園試，[5]山形農林水産部農業技術環境課）	果 041 ウメ‘露茜’に適した授粉品種の選定 ○竹中 正好[1]・佐原 重広[2]・大江 孝明[1]・北村 祐人[1]（[1]和歌山果試うめ研，[2]和歌山日高振興局）		野 018 インドネシアにおけるトウガラシのジェミニウイルス被害 ○小枝 壮太[1]・Kesmawati Elly[2]・細川 宗孝[1]・土井 元章[1]・北島 宣[1]（[1]京都大院農学研究科，[2]Syiah Kuala University）	野 039 促成イチゴ‘さがほのか’の局所温度制御による収穫期間の拡大 ○大坪 竜太[1]・石橋 哲也[1]・富永 慧[2]・浦田 貴子[1]・中山 敏文[2]（[1]佐賀上場営農セ，[2]佐賀農試研セ）	野 057 アレロパシーが関与するアスパラガスの連作障害回避に向けた活性炭の施用効果の持続性 山本 玄棋[1]・氏家 みお[2]・元木 悟[3]・飯田 拓生[4]・○西原 英治[5]（[1]鳥取大院農学研究科，[2]福岡筑後農林事務所，[3]明治大農学部，[4]鳥取大院連合農学研究科，[5]鳥取大農学部）
10:45	果 020 次世代シークエンサーを用いたセイヨウナシ‘La France’遺伝子データベースの作成 ○太田垣 駿吾[1]・奈島 賢児[1,2]・尾形 善之[3]・牧野 治子[1]・五十鈴川 寛司[4]・大塚 貴生[5]・及川 彰[5,6]・Stefan Reuscher[1]・松本 省吾[1]・白武 勝裕[1]（[1]名古屋大院生命農学研究科，[2]農研機構果樹研，[3]大阪府立大院生命環境科学域，[4]山形農総研セ園試，[5]理研PSC，[6]山形大農学部）	**ウメ** **澤村 豊** 果 042 果皮被覆資材によるウメ果実の果皮斑点性障害‘黒点症（通称）’の軽減効果 ○城村 徳明[1]・池田 達哉[2]・東 順一[3]・古屋 挙幸[1]・東 卓弥[1]（[1]和歌山果樹試うめ研，[2]農研機構近中四農研，[3]大阪大）		**栽培・栄養生理（タマネギ）** **山崎　篤** 野 019 富山県の春まき夏どりタマネギ栽培におけるマルチの有無およびマルチの種類が生育・収量に及ぼす影響 ○浅井 雅美・西畑 秀次（富山農総技セ園研）	**栽培・作型等（イチゴ）** **山崎 浩道** 野 040 可動式光反射シートを利用したイチゴ‘あまおとめ’の品質収量向上技術（第 1 報）光反射資材の種類や装着方法が果実の着色に与える影響 ○伊藤 博章[1]・弓達 隆[2]・大塚 英浩[3]・安西 昭裕[4]・石々川 英樹[4]・徳永 英行[5]（[1]愛媛八幡浜支局，[2]愛媛南予地方局，[3]東宇和農協，[4]愛媛農林水産研，[5]愛媛農業大学校）	野 058 無菌アスパラガス実生の地上部・地下部・浸出液中に含まれる無機成分の分析 ○畠山 茂[1]・本村 勇貴[1]・原口 智和[1]・藤井 義晴[2]・駒井 史訓[1]（[1]佐賀大農アグリセンター，[2]東京農工大院農学研究院）
11:00	**ニホンナシ２** **板井 章浩** 果 021 ニホンナシ果実の成長・品質に及ぼす袋掛け遮光の影響 ○立半 俊樹・名田 和義・平塚 伸（三重大院生物資源学研究科）	果 043 ウメ低樹高ジョイント仕立て 6 年生樹の生産性と栽培管理の省力，低コスト化 ○柴田 健一郎・曽根田 友暁・小泉 和明・小林 正伸（神奈川農技セ）		野 020 富山県における春まき夏どりタマネギ栽培の単収向上のための栽植方法（第 2 報）448 穴セルトレイを用いた 1 穴 3 粒は種による機械化栽培の可能性 ○西畑 秀次・浅井 雅美（富山農林水産総技セ園研）	野 041 イチゴの光中断処理による花芽分化制御方法の検討 ○井狩 徹・河田 智明・佐々木 麻衣・五藤 由香理（静岡農林研）	**育種・病害虫（アスパラガス）** **渡辺 慎一** 野 059 アスパラガス，ハマタマボウキおよびそれらの雑種個体に含まれるプロトディオシン ○尾崎 行生[1]・岩戸 美由紀[2]・前田 智雄[3]・松元 賢[4]・大久保 敬[1]（[1]九州大院農学研究院，[2]九州大院生物資源環境科学府，[3]弘前大農学部，[4]九州大熱研セ）
11:15	果 022 ナシの Hydraulic lift における水および無機成分の輸送 ○田坂 光[1]・西原 英治[2]・坪 充[3]・星 典宏[4]・柴田 昇平[5]・小林 和智[6]・田村 文男[2]（[1]鳥取大院農学研究科，[2]鳥取大農学部，[3]Agri. Res. Council, R of S. Africa，[4]農研機構近中四農研，[5]農研機構九沖農研，[6]ICT international Pty Ltd）	**ブドウ２** **塩崎 修志** 果 044 スーパーセージ法によるブドウ果実中のプロアントシアニジン生合成関連遺伝子の同定 ○小山 和哉[1]・沼田 美子代[1]・後藤 奈美[1]・松村 英生[2]・田中 伸和[3]（[1]酒総研，[2]信州大ヒト環境科学研究支援セ，[3]広島大自然科学研究支援開発セ）		野 021 アミノ酸発酵副生液の追肥的施用が秋まきタマネギの収量・品質に及ぼす影響 ○成富 正好志[1]・森 太郎[2]・室 崇人[3]・駒井 史訓[1,2]（[1]佐賀大院農学研究科，[2]佐賀大農アグリセンター，[3]農研機構北農研）	野 042 高温条件下の四季成り性イチゴ‘なつあかり’の成長に及ぼす夜間電照における光質の影響 ○西山 学・金山 喜則・金浜 耕基（東北大院農学研究科）	野 060 培土がアスパラガス茎枯病の発生に及ぼす影響（第 2 報）制御環境下における培土の茎枯病抑制効果の検討 ○橋下 愛・園田 高広（酪農学園大酪農学研究科）
11:30	果 023 ニホンナシにおける防霜ファン，多目的防災網および燃焼資材の組合せによる実用性評価 ○大谷 義夫・北原 智史（栃木農試）	果 045 ジベレリン処理方法の違いがブドウ「ピオーネ」，「ゴルビー」の着色に及ぼす影響 ○宇土 幸伸・小林 和司・里吉 友貴（山梨果樹試）				野 061 ビタミン C および緩速凍結処理を利用したアスパラガスのウイルス除去 ○松尾 典之・志村 華子・鈴木 卓（北海道大院農学院）
11:45		果 046 温度と光条件の違いがブドウ‘巨峰’果実の着色に及ぼす影響 ○四宮 亮・白石 美樹夫・粟村 光男（福岡農総試）				

第 2 日　9 月 21 日（土）　10:30 ～ 12:00

G 会場 G28 野菜 IV	H 会場 G31 花き I	I 会場 G35 花き II	K 会場 G1大 利用 I	時 間
	花 019 低温処理および GA 処理によるファレノプシスの花序形成期間中の花成関連遺伝子の発現解析 ○窪田 聡・後藤 綾香・腰岡 政二（日本大院生物資源科学研究科）	花 043 夏期高温条件下における夜間降温処理温度がシクラメンの生育・開花に及ぼす影響 ○加古 哲也・田中 博一・川村 通（島根農技セ）	利 015 野菜果物における特性モデルについて（第 4 報）　イチゴ輸送モデルによるリスク評価 ○打田 宏 [1]・今野 哲 [1]・伊東 圭昌 [2]・小島 真路 [2]・藤谷 明倫 [2]（[1]JA 全農 , [2] 神奈川産技セ）	10:30
	花 020 リンドウ花成に関与する *CONSTANS* 遺伝子の機能解析 ○今村 智弘・樋口 敦美・高橋 秀行（公益財団法人岩手生物工学研究センター）	花 044 間欠冷蔵処理がエラチオール・ベゴニアの生育に及ぼす影響 ○中島 拓 [1]・柴田 忠裕 [1,2]・後藤 丹十郎 [3]（[1] 千葉農総研セ , [2] 千葉農大学校 , [3] 岡山大院環境生命科学研究科）		10:45
	遺伝子解析・遺伝子組換 **菅野 明** 花 021 花弁特異的 *InMYB1* プロモーターの花弁特異的発現誘導機構の解明　第 3 報：*apetala3-1* における多様な形態の花弁と *InMYB1* プロモーターの作動 ○東 未来 [1]・猫橋 茉莉 [1]・森本 玲奈 [1]・廣瀬 真名 [1]・太田垣 駿吾 [1]・松本 省吾 [1]・大島 良美 [2]・光田 展隆 [2]・高木 優 [2,3]・白武 勝裕 [1]（[1] 名古屋大院生命農学研究科 , [2] 産総研生物プロセス , [3] 埼玉大環境科学研究センター）	**収穫後生理** **岸本 久太郎** 花 045 キシログルカンオリゴ糖のカーネーションに対する開花促進作用 ○佐藤 茂 [1]・立石 亮 [2]・杉山 想 [3]（[1] 京都府立大院生命環境科学研究科 , [2] 日本大生物資源科学部 , [3] 京都府立大生命環境学部）		11:00
	花 022 アマ科植物の異形花型自家不和合性の解析 VI. de novo assembly 解析による花型特異的発現遺伝子の同定 ○牛島 幸一郎 [1]・鈴木 孝征 [2]・中野 龍平 [1]・東山 哲也 [2,3]・久保 康隆 [1]（[1] 岡山大院環境生命科学研究科 , [2]JST ERATO 東山ライブホロニクス , [3] 名古屋大 WPI トランスフォーマティブ生命分子研）	花 046 バラ切り花におけるグルコースと抗菌剤の処理による品質保持効果の実証 ○西村 林太郎 [1]・酒井 友幸 [2]・佐藤 裕則 [1]・市村 一雄 [3]（[1] 山形農総研セ園試 , [2] 山形村山農技普 , [3] 農研機構花き研）		11:15
	花 023 非ナデシコ目植物におけるベタキサンチン生合成経路の再構築と黄色色素の蓄積 ○中塚 貴司 [1]・佐々木 伸大 [2]・山田 恵理 [2]・藤田 晃平 [2]・高橋 秀行 [2]・今村 智弘 [2]・鈴木 万里子 [3]・小関 良宏 [3]・辻村 郁子 [2]・齋藤 美沙 [2]・坂本 裕一 [2]・西原 昌宏 [2]（[1] 静岡大院農学研究科 , [2] 岩手生工研セ , [3] 東京農工大工学部）	花 047 外生エチレンに対するバラ 3 品種の反応 ○本間 義之・外岡 慎・貫井 秀樹（静岡農林技研）		11:30
	花 024 オリエンタルハイブリッドユリにおける白色花被片の起源 ○鈴木 一眞 [1]・田崎 啓介 [2]・山岸 真澄 [2]（[1] 北海道大農学部 , [2] 北海道大農学研究院）	花 048 バラ切り花の周期的花弁成長とその応用 ○堀部 貴紀・山田 邦夫（中部大院応用生物）		11:45